



なにいろがすき？

日本の社会では、色によって男女の別を表すことが少なくありません。例えばトイレの表示も青と赤で男女の区別がされており、これは、1964年の東京オリンピックが発祥といわれています。そんな環境の中で私たちは知らず知らずのうちに「赤やピンクは女の子の色」「青や水色は男の子の色」と、色によって男女を区別するようになりました。

近年は店頭に並ぶランドセルの色も豊富ですが、ランドセル選びには今でもこの傾向がみられるのではないのでしょうか。女の子が使うランドセルは比較的カラフルなものが多い中、男の子に関しては「黒」系がほとんどです。幼いときに大好きだったヒーローの色、赤いランドセルを背負う男の子はほとんど見たことがありません。こ

れは、子ども自身よりむしろ祖父や父母などが、「男の子は黒」という慣習にならって選ぶことに起因していると思われます。また、みんなが持っている色とかけ離れたものを選ぶと、「いじめられはしないだろうか」「みんなと違うと心配」などの理由で、従来どおりの無難な色を選ぶ場合も少なくないでしょう。そんな大人たちの中で生活しているうちに、子どもたちの中にも知らず知らずのうちに色についてのジェンダーバイアス(社会的・文化的性別、性的偏見)が確立されていくのではないのでしょうか。

ここで一冊の絵本をご紹介します。

「ますだくんのランドセル」
～ぼくは、ますだけんいち。男の子だけど、ずっと欲しかったお姉ちゃんの赤いお古のランドセルを

とても気に入っています。

固定的な考え方にとらわれず自分が身に付けたいもの、自分が好きだと思えるものに気付き、気に入ったものはしっかりと気に入ったと言えるますだくんのとても素敵なお話です。(この絵本は市立図書館名寄本館、風連分室でも貸し出しされていますので、ぜひ一読ください)



『ますだくんのランドセル』
武田美穂 / 著
ポプラ社

今回のお話がきっかけとなり、身の回りのさまざまなジェンダーに気付き、性によって生き方を制約されず、自分や周りの人の個性を認め、大切にしようとする意識が生まれることを期待します。

問い合わせ 企画課男女共同参画担当(名寄庁舎3階) ☎01654③2111 (内線3309) ✉ny-mwkyodo@city.nayoro.lg.jp

佐川急便をかたる ショートメッセージに注意!

名寄市 消費生活センター通信

問い合わせ 消費生活センター ☎01654②3575



スマホに「お客様宛にお荷物のお届けにあがりましたが、不在のため持ち帰りました。配送物は下記よりご確認ください」とURL付きのメッセージが届いた。不審だ。(50代男性)

怪しい...



お客様宛にお荷物のお届けにあがりましたが不在の為持ち帰りました。
配送物は下記よりご確認ください。
<https://www.sagawa>

- ◆佐川急便の名をかたり、「不在通知」の内容でショートメッセージが届いたとの相談が全国的に多発しています。佐川急便が「不在通知」などの内容でSMS(ショートメッセージ)を送ることはありません。
- ◆URLには、リンク先[<http://sagawa>]と書いてあり、クリックすると偽サイトに接続されアプリの登録を誘導してきます。
- ◆もし登録するとスマホの情報を抜き取られ、自分のスマホから不特定多数の人に向けてSMSを送信されたり、携帯電話の決済サービスを利用され、身に覚えのない料金を請求される場合があります。安易にアプリに登録しないでください。
- ◆心配なときは、宅配業者に直接電話で確認しましょう。困ったときは、消費生活センターに相談してください。



困ったときは消費生活センターに相談ください。